

当院で膵臓の摘出手術を施行された患者さんの診療情報および 切除後膵組織を用いた医学系研究に対するご協力をお願い

研究責任者

所属 腎臓内分泌代謝内科

氏名 稲石 淳

連絡先電話番号 03-5363-3797

このたび当院では、上記で入院された患者さんの診療情報および切除後膵組織を用いた下記の医学系研究を、医学部倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

2012 年 5 月 23 日までの間に、当院一般・消化器外科にて膵臓の摘出手術を受けた方

2 研究課題名

承認番号 20120007

研究課題名 ヒトでの膵内分泌細胞の組織学的特徴と糖代謝異常との関連についての検討

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部腎臓内分泌代謝内科・慶應義塾大学病院（腎臓内分泌代謝内科研究室、病理学教室、一般外科・腎臓内分泌代謝内科病棟・外来）

4 本研究の意義、目的、方法

糖尿病は膵臓の内分泌細胞から分泌されるインスリンというホルモンの作用不足により発症します。しかし膵臓の内分泌細胞の様子は膵臓を直接顕微鏡で観察しないと分かりません。そこで当院にて膵臓の手術を受けられた、あるいは受ける予定の患者様から、手術後の膵組織の一部をいただき、糖尿病など糖代謝異常と膵内分泌細胞の組織像との関連について検討します。本研究では、病理学教室との共同研究で、ヒト剖検膵組織を用いて日本人の膵 β 細胞量を検討します。

5 協力をお願いする内容

具体的には、摘出した膵臓から腫瘍でない部分を探し、組織標本を作製した上で免疫組織染色という方法を用いて内分泌細胞に色を付け、顕微鏡を用いてその形態学的特徴を観察します。患者さんへの新たな負担はありません。膵臓の内分泌臓器の組織学的特徴と糖代謝との関連を明らかにすることで、将来の糖尿病治療に役立てるためにこの研究を計画しました。

本研究は当院外科学教室、病理学教室との共同研究として行われ、原則として患者様より書面による同意を頂き実施致しますが、過去に手術を受けられ、現在当院に通院されていない患者様につきましては改めて書面による同意を頂くことができません。したがって書面による同意を頂くことのできない患者様にも本サイト上で研究内容を公示することで、できる限り情報公開に努めています。上記に該当する患者様は本研究へのご参加を拒否する権利がございます。本研究の内容に関するお問い合わせは実務責任者 稲石 淳（03-5363-3797 直通）までお願い致します。

6 本研究の実施期間

西暦 2012 年 5 月 23 日～2025 年 3 月 31 日

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名および患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報および切除後膵組織は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と、匿名化した診療情報および切除後膵組織を結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、診療情報や切除後膵組織の研究への使用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

稲石 淳 慶應義塾大学医学部腎臓内分泌代謝内科 03-5363-3797

以上